# Q & A

## 動薬検にはどんな施設があるの？

当所が現在地(東京都国分寺市戸倉)に新築･移転したのは､昭和34年4月です｡そのときは､まわりは麦畑､芋畑で、庁舎・守衛所、７動物舎、浄化槽等が設置されていました。その後、医薬品の安全対策の強化等の時代の要請に応えて、検査棟等が増設されてきました。また、まわりはすっかり宅地となりました。

さて、当所の施設の特徴としては、唯一の動物用医薬品の検査機関として、あらゆる検査に対応する必要があるということです。

このため、例えば、動物飼育施設では、マウス、ラット、ウサギ等の実験動物、鶏、豚、山羊、牛などの家畜、犬、猫のほか、環境毒性評価のためのメダカ、ミジンコや水産薬のための淡水魚、海水魚の飼育施設もあります。実験施設についても、微生物から化学物質まで幅広い検査が求められ、バイオセーフティレベルの高い高度封じ込め施設や各種分析施設･機器が設置されています。重要な資料や資材の保管には耐震保管庫（棟）を利用しています。しかし、昨今の厳しい財政事情の中、みんなで工夫しながら、これらの施設や検査機能を維持しており、苦労が絶えません。

昭和 34 年　本館全景

平成 18 年 5 月　本館全景

## 主　な　行　事

| 月　日 | 行　　事 | 場　所 |
|---|---|---|
| 18.　4.　5 | 動物用抗菌性物質製剤調査会出席 | 本　省 |
| 6 | 第 7 回動物実験指針検討作業部会出席 | 経済産業省 |
| 10 | 職員永年勤続表彰 | 当　所 |
| 13 | 水産用医薬品調査会出席 | 本　省 |
| 17 | 動物用生物学的製剤調査会出席 | 本　省 |
| 18 ～ 19 | 平成 18 年度全国家畜衛生主任者会議出席 | 本　省 |
| 19 | 鶏病研究会通常総会・春季全国鶏病技術研修会出席 | 本　省 |
| 20 ～ 21 | 第 47 回全国家畜保健衛生業績発表会出席 | 千代田区公会堂 |
| 26 | 動物用医薬品再評価調査会出席 | 本　省 |